東京都予防のための子供の死亡検証（ＣＤＲ）関係機関連絡調整会議

議事要旨

1.　会議概要

（1）　開催日時 令和８年３月３日（火曜日）１３時から１４時３０分まで

（2）　開催方法 対面及びオンライン会議

2.　議事内容

【事務局説明】

議事２の令和７年度東京都予防のための子供の死亡検証（ＣＤＲ）事業報告書について（資料２）

・令和７年度多機関検証ワーキンググループにおける検証内容等について取りまとめたものであり、今後のＣＤＲ事業の推進に当たり、グリーフケアの取組、ＣＤＲの普及啓発について記載した。

議事３のグリーフケア及びＣＤＲ普及啓発に向けた取組について（資料３、４）

・令和８年度の都の取組として、グリーフケアの取組、ＣＤＲの普及啓発について報告した。

・グリーフケアについては、現在、赤ちゃんを亡くしたご家族のための電話相談を実施している。これに加え、来年度は「グリーフケア体制整備事業」を開始し、グリーフケアに取り組む区市町村への補助を実施する。

・ＣＤＲの普及啓発については、個別検証の対象となり得る事例を増やすため、協力医療機関拡大に向けた働きかけを行っている。さらに、普及啓発チラシの作成を予定している。

議事４の子供の死亡事故の予防等に関する取組の情報提供（資料５、６、７）

・子供政策連携室では、「子供を事故から守る環境づくり」として、子供の事故が起きにくい環境づくりに向けて、子供の事故情報データベースやセーフティ・レビュー事業など、関係局と連携した取組を推進している。

・保健医療局では、若年層の自殺防止に関する取組として、東京都こころといのちのサポートネットへの「子供サポートチーム」の設置等のほか、来年度は中高生等の自殺防止に向けた普及啓発も予定している。

・福祉局では、令和６年度児童虐待死亡事例等検証部会の報告書を公表した。報告書には、調査票による分析・検証結果、詳細な調査・ヒアリングによる検証を踏まえた提言を記載している。

議事５の令和８年度の予定について（資料８）

・令和８年度も関係機関連絡調整会議、多機関検証ワーキンググループを開催する予定である。

【主な意見交換等】

・今後に向けて必要があると考えられた取組が、どのように進んでいっているかモニタリングしていく必要がある。

・協力機関の拡大に向けて対応いただき、ありがたい。既存の協力医療機関の医療従事者が、新規の協力医療機関をサポートしていければ良いと思う。

・これまで点在していたオープンデータを取りまとめ、検索できるようにした「子供の事故情報データベース」のような取組は非常に意義がある。データベースを継続的に管理していくとともに、より多くの方に活用してもらうための施策を進めていってほしい。

・自殺に関する取組が幅広く行われている。今後は、どのように自殺を防げるか、事例を検証できるとさらに良い。

・検証部会では、起きたことを責める視点ではなく、どうしたら予防できたのかという視点から検証している点が、ＣＤＲの考え方ともつながる。